

田口知明 新市長 就任



市民の皆さまへ

仙北市長 田口 知明

市民の皆さま、この度仙北市長に就任させていただきました田口知明です。私のことをご存じない方もたくさんいらっしゃると思いますので、自己紹介をさせていただきます。私は1970（昭和45）年に旧田沢湖町生保内で、木材業を営んでいた家の4代目として生まれ、生保内小学校、生保内中学校、角館高校を卒業しました。その後家業であった木材会社に就職しましたが、経営環境の悪化などにより、昨年12月に94年の歴史に幕を下ろす決断を経営者としてしました。廃業とはいえ、社員や社員のご家族、取引先様、地域の皆さまへ多くのご迷惑をおかけしてしまったことへの自責の念は一生消えることはありませんが、この経験から私が気づかせていただいたことは、自分の人生は家族や友人をはじめ、多くの方々から支えていただいて生きてこられたこと、そして何よりも故郷仙北で家族と暮らせる幸せとそのことへの感謝でした。その感謝への恩返しをしたいという思いがどんどん強くなっていく中で、市長

を3期務められた門脇光浩さんが退任されること、また仙北市の直面している厳しい現状を知り、政治経験のない私でも故郷のために何かお役に立てることが必ずあると確信し、この度仙北市長へ就任をさせていただくこととなりました。

選挙期間中、市内を隈なく回っていて目の当たりにしたのは、多くの空き家が朽ち果てている光景でした。今仙北市が直面している人口減少や少子高齢化を実感するとともに、数百年の間当たり前のように行われてきた、先人より受け取った地域というバトンを次世代へ引き継いでいくことが、当たり前ではなくなっている現実に危機感を強く持ちました。それと共に、自分が40代、50代の責任世代の代表として、何が何でも故郷を守り、明るい未来を子どもたちに描いてもらえる地域にするために、全身全霊で市政へ取り組む決意をしました。

いま、仙北丸が出航します！！

私が考える理想の故郷像は、「幸福度、全国NO.1の仙北市」です。

具体的に申し上げますと、①目標をもち、やりたいことがある人が多いまち、②やりたいことにチャレンジしている人が多いまち、③日々の暮らしに生きがいを感じている人が多いまち、④自分のことを大切に思ってくれる人たちがいるまち、⑤頼れる人がいるまち、⑥自分の居場所や役割があるまち、です。

この目指すべき理想の仙北市実現のために中期ビジョンとして、

- ①市民とちゃんと向き合うまち
 - ・スマホを使った市政の透明化・対話の加速
 - ・ちゃんと成果に向き合う市役所
- ②安心して暮らせるまち
 - ・感染症に強いまち
 - ・世代間で切れ目がなく、安心して子育てできるまち
 - ・高齢者が健康に暮らせるまち
- ③稼げるまち
 - ・仙北市ブランドを核とした付加価値の高い商売ができるまち
 - ・新規事業・起業・就農などで、安心してチャレンジできるまち

を目指しまちづくりに取り組みます。

私は仙北市長への挑戦を決意してから、仙北市を船に例えて市民の皆さまにお伝えしてまいりました。私たちが乗船（生活）している仙北丸（仙北市）は、残念ながら船底に穴が開いていて少しずつ浸水してきています。その原因は大きく三つあり、一つ目は急速な少子高齢化と人口減少で、2020年の国勢調査の人口減少の動きを踏まえると2060年頃には仙北市の人口がゼロになる可能

性があります。二つ目は新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況・衛生環境の悪化です。観光産業のみならず、すべての産業に大きなダメージを受けていますし、今後再び感染拡大すれば、市民生活・市内産業へのダメージは甚大となることが予想されます。三つ目は市役所の財政のひっ迫です。現状、新しく投資的に使える自前の財源がほとんどありません。

この浸水を止めて仙北丸が沈むのを防ぐことが、新たな船長に就任させていただいた私の真っ先に取り組むべき課題と考えています。しかし船は船長一人では前に進めることはできません。目的地を船長が定めませんが、船の操縦をする航海士や、船医、料理人、など多くの船員が必要です。乗船している皆さんがそれぞれの役割を果たしていくことで船は航海できるのだと思います。私は新たなかじ取り役として全力で自分の責任を果たしてまいりますので、市民の皆さま、市議会議員の皆さま、市役所職員の皆さまにはどうか政治経験のない私へのご指導とご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

仙北丸は今、錨を上げ、皆さまと共に、明るい未来に向けて新たな航海へ出発します！！

Profile

田口 知明・たぐちともあき

- ▶1970（昭和45）年10月6日生まれ
- ▶角館高校卒
- ▶血液型：A型
- ▶趣味：温泉旅行
- ▶好きな食べ物：肉類
- ▶大事にしていること：報恩・感謝
- ▶座右の銘：「奮励努力」